

平成23年東北地方太平洋沖地震では、東北地方を中心に、広域で多くの犠牲者を出す大変な事態となりました。犠牲になった方のご冥福をお祈りいたし、災害にあわれた方に心よりお見舞い申し上げます。

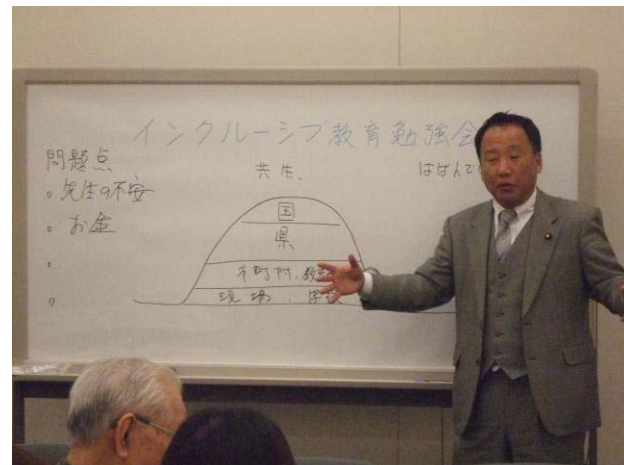
共に生き、共に学ぶ

■インクルーシブ（共に生き共に学ぶ）教育の推進

障がいのある子どもたちにも、特別な状況に応じた教育、それぞれの子どもにとって適切かつ最善な支援を行い、学校教育において障がい者と健常者がともに学ぶことを原則とし、保育園・幼稚園の段階から小中学校教育までインクルーシブ保育・教育に取り組んでいます。

障がい者政策PT副座長の大島九州男参議院議員は、これまでも、弱視者用の拡大教科書等の普及、発達障がい児への支援など、障がいの視点に立った教育環境をつくるために活動をしています。

また2月24日には、日本障害フォーラム、全国特別支援教育推進連盟の方と、インクルーシブ教育の勉強会を行いました。障害者基本法の議論の中で、本当にインクルーシブ教育が進むのか？多くの方が疑問に感じている状況です。そのために多くの方々のお話を聞き、現場で、本当の意味での共生・共学の世の中が出来ていくように取り組んでいます。



現場の声を… 委員会派遣報告



認定こども園五葉幼稚園

■行政監視委員会派遣

行政監視委員会は、行政を組織・人事の在り方という観点から恒常的に監視する事を使命としています。

この観点に主眼をおき、大阪拘置所・大阪地方検察庁、大阪にある認定こども園五葉幼稚園、海上保安庁第五管区海上保安本部などを視察しました。

大阪地検では、厚生労働省元局長無罪事件では、人権の保障と公共の秩序を目的とするはずの検察官が、存在意義を否定する証拠改ざんという犯罪行為を行った事件でした。大島九州男筆頭理事をはじめ派遣委員の国会議員からは厳しい指摘がなされましたが、それを反省し同地検をどう改革していくかについての言及が不十分であり、事件当事者としての責任意識の希薄さが感じられるものでありました。

また、認定こども園五葉幼稚園では、園児のみなさんの、かわいい元気イッパイな挨拶で出迎えられ、園児のみなさんのおかげで、気持ちのよい時間を過ごす事が出来ました。同園では、現在1歳児と2歳児合わせて17名の園児を受け入れています。認定こども園に移行した理由として、人生の始まりから教育を行うことの重要性を強調され、また障害児の受け入れを行っています。

大島九州男参議院議員は、行政監視委員会の視察の他にも、文教科学委員会では、京都府・奈良県において初等中等教育、文化及び科学技術等に関する実情を調査視察しました。



海上保安庁第五区海上保安本部



大阪地検検察庁でのヒアリング

九州が身近に…

3月12日に、九州新幹線が開通します。

新大阪から鹿児島まで3時間45分。大島九州男参議院議員は九州新幹線開通に先立ち、先月に行われた試乗会に参加しました。より九州を福岡を、元気にするツールの一つとして期待がもたれています。

また、2月19日には、九州道鞍手インターチェンジの開通式も行われました。大島参議院議員の事務所から10分弱のこのICは、福岡市と北九州市の間に位置し、地域の流通の発展や混雑解消に大きく寄与することでしょう。



九州新幹線 - 福岡～鹿児島試乗